



Middlebury Institute of
International Studies at Monterey

報道関係者の方へ
2017年3月●日

連絡先:プロジェクト主任 土岐雅子
(オフィス)+1 (831) 647-3580
(携帯)+1 (831) 915-6162
(Eメール) masako.toki@miis.edu

包括的核実験禁止条約機関準備委員会(CTBTO)事務局長 ラッシーナ・ゼルボ氏来日講演 長崎市で日米露の高校生と核軍縮について語る



来る2017年4月3日(月)~5日(水)、日本・米国・ロシアの高校生による核軍縮国際会議が長崎原爆資料館ホールで開催されます。クリティカル・イシューズ・フォーラム(CIF)による本会議が日本で開催されるのは2015年の広島会議に続いて二回目、長崎では初めての開催です。会議は、ミドルベリー国際大学院ジェームズ・マーティン不拡散研究所(CNS)が主催、活水高等学校、核兵器廃絶長崎連絡協議会が共催、長崎市、長崎県、長崎大学核兵器廃絶研究センター(RECNA)、長崎平和推進協会、活水同窓会が後援、国立長崎原爆死没者追悼平和記念館が協力します。

本会議には、日本から被爆地広島・長崎を始め、東京、神奈川、大阪の7つの高校、米国各地から6校、ロシアから冷戦期に核兵器製造のために作られた「核閉鎖都市」の4校の生徒及び教員が参加し、「包括的核実験禁止条約と核兵器のない世界に向けた役割」のテーマで各校の研究・学習の成果を発表します。

4月4日(火)午後4時~午後6時30分に開かれる一般公開会議では、包括的核実験禁止条約機関準備委員会(CTBTO)事務局長のラッシーナ・ゼルボ氏による基調講演が行われます。ゼルボ氏は包括的核実験禁止条約の発効に向けた動きを推進させるべく、同機関で青少年イニシアティブを始めるなど、青少年教育への取り組みにも熱心なことで知られています。

一般公開会議には、核軍縮に向けて強いリーダーシップを発揮している長崎市の田上富久市長も出席する他、各国の高校生らが青少年教育と包括的核実験禁止条約、及びその条約が核兵器廃絶に果たす役割などについて、議論を行います。



CIFに参加する高校生は今年度、核実験禁止条約の概念や核兵器のない世界に向けてどのような役割があるか学習してきました。中でも特に包括的核実験禁止条約(CTBT)に注目し、日米露それぞれの国がその条約の発効にどのように関与しているのか、研究を重ねてきました。本会議では、国際的な核不拡散・核軍縮に対する取り組み、及びCTBTに求められている役割が話し合われます。

過去の会議に引き続き、本年の会議では核不拡散・核軍縮の第一線で活躍する専門家の方をお招きし、高校生らと対話をします。日本の核軍縮研究を率いる長崎大学核兵器廃絶研究センターの専門家も会議で講義を行う予定です。

CIFに参加する高校生らは、原爆資料館を訪れ、核兵器の被害を受けた被爆者の方からお話を聞くなど、核兵器がもたらす衝撃について多くを学びます。これらの体験から、各国の高校生らが、長崎を核兵器によって破壊された最後の街にしようと決意を新たにすることを願っています。

本会議は、教師・生徒らが世界平和・安全について学びあうことを通じ、批判的思考能力の向上を狙った一学期間に及ぶプログラムの集大成です。日米露の高校から集う参加者は、各々が選んだ課題の成果について、創造的かつ独創的な方法で発表し、意見交換を行います。双方向的な異文化交流活動も行われる他、2013年に若者の間で核軍縮や不拡散の問題について意識を高めるために設立された、長崎青年代表団のメンバーとも意見を交わす予定です。



今年度のCIFはニューヨーク州を拠点として、日米両国市民間の友好と理解の支持・促進を行う米日財団、及びトム&サラ・パットyson財団の支援を受けて運営されています。CIF事業の詳細については、下記ウェブサイト及びビデオをご覧ください。

CIF 公式ホームページ: sites.miis.edu/criticalissuesforum

紹介ビデオ: <https://youtu.be/tcDfru0x4fQ>



【内容】 クリティカル・イシューズ・フォーラム(CIF)

【日時・場所】 2017年4月3日～5日 長崎県長崎市内

2017年4月3日(月)午前9時～午後4時 活水高校

2017年4月4日(火)午前9時～午後1時 活水高校

午後4時～午後6時半 公開シンポジウム 長崎原爆資料館ホール

2017年4月5日(水)午前9時～午後1時 長崎原爆資料館ホール

【各国参加校】

米国

チョート・ローズマリー・ホール高校(コネティカット州)

ハーカー高校(カリフォルニア州)

ドクター・オルガ・モハン高校(カリフォルニア州)

パシフィック・グローブ高校(カリフォルニア州)

プナホ高校(ハワイ州)

ロック・ユニバーシティ高校(ウイスコンシン州)

日本

広島女学院高等学校(広島県)

開成学園高校(東京都)

関西創価高等学校(大阪府)

活水高等学校(長崎県)

長崎東高等学校(長崎県)

創価高等学校(東京都)

横浜国際高等学校(神奈川県)

ロシア

41 高校(ノヴォウラリスク市)

39 高校(オジョルスク市)

125 高校(スネジンスク市)

164 高校(ゼレノゴルスク市)

【連絡先】プロジェクト主任 土岐雅子(携帯)+1 (831) 915-6162

(Eメール) masako.toki@miis.edu



###

ミドルベリー国際大学院モンレー校について

ミドルベリー国際大学院モンレー校は1955年にグローバルキャリアを目指す若手実務家の養成を目的として設立されました。米カリフォルニア州モンレーに位置する本学では高度な専門性を追求するため、国際ビジネス論、国際教育管理論、国際環境政策論、国際政策論、言語教授学、ローカリゼーション・マネジメント論、大量破壊兵器不拡散およびテロリズム研究、行政学、翻訳・通訳等の修士課程を始め、様々な特別課程やプログラムが用意されています。また、本学には世界50か国以上から約750名の学生が集い、ここを母体とするジェームズ・マーティン不拡散研究所(CNS)ならびにモンレーテロリズム研究教育プログラム(MonTREP)、ブルーエコノミー研究所、紛争解決研究所が併設されています。詳細は下記リンクより閲覧できます。

Middlebury Institute of International Studies at Monterey: www.miis.edu

ジェームズ・マーティン不拡散研究所について

ジェームズ・マーティン不拡散研究所(CNS)は次世代を担う大量破壊兵器不拡散専門家の養成、また日々刻々と変化する不拡散関連の情報とその分析の発表を通して大量破壊兵器の拡散と闘っています。CNSは大量破壊兵器不拡散関連問題の研究と専門家養成に特化した米国で最大規模の非政府組織(NGO)です。CNSニュース、写真は下記リンクよりご覧いただけます。

James Martin Center for Nonproliferation Studies: <http://www.nonproliferation.org/>

